

富士川町総合教育会議

次 第

日時：令和4年11月4日（金）

午後3時～

場所：教育文化会館3階会議室

1 開 会

2 町長あいさつ

3 協議事項

(1) 新たな中学校の方針について

(2) その他

4 閉 会

新たな中学校の方針（案）

設置理由	富士川町の全ての生徒が、多様な人間関係を築きながら切磋琢磨し、協調性や社会性を育む機会が得られるよう、教育環境を整備する必要があるため
設置方法	増穂中学校と鯉沢中学校を統合し、両校の歴史や伝統を併せ持つ新たな中学校を設置する
設置場所	富士川町最勝寺1372（増穂商業高校跡地） または 富士川町天神中條991-1（現増穂中学校敷地）
開校時期	令和7年4月に新たな中学校を開校する
校舎等	令和5年度から新校舎の建設事業に着手し、令和9年度夏季休業中の移転を目指す 開校から新校舎への移転までは、増穂中学校を仮の校舎とする

新たな中学校の方針について

会議名：富士川町総合教育会議

日時：令和4年11月4日(金)午前3時から

場所：富士川町教育文化会館3階会議室

1 アンケート結果

① 児童生徒

Q1. 中学校が1つになる時期は、いつごろがいいと思いますか。

- A1. わからない・・・37.3%
少し時間をおいて統合したほうがいい・・・37.2%
なるべく早く統合したほうがいい・・・25.5%

Q2. 新しい学校の場所は、どこがいいと思いますか。

- A2. いまの増穂中学校がある場所・・・42.6%
わからない・・・32.3%
増穂商業高校があった場所・・・25.1%

Q3. 新しい中学校は、どんなものがいいと思いますか。

- A3. 今ある校舎を直してきれいにして使ったほうがいい・・・43.1%
新しい校舎がいい・・・42.0%
わからない・・・14.9%

② 保護者・教職員

Q. 新たな中学校はどのような形での設置がよいとおもいますか。

A1. 時期別

- 新しい校舎を建築し、完成した時点で統合する・・・80.3%
なるべく早く統合し、その後新たな校舎を建築する・・・19.7%

A2. 位置別

- 増穂商業高校の跡地・・・53.4%
増穂中学校の敷地・・・46.6%

2 対話集会

- ・ 増穂商業高校跡地になると通学距離が長くなる生徒が多くなるので、増穂中学校がいいと思う
- ・ 保育園、小学校、中学校を総合的に考えたほうが良い
大きい敷地があれば3つを1箇所に集中させることができる
- ・ 増穂商業高校になるのであれば、自転車通学は必然だと思う
南アルプス市等の懐の広い市町村でも、自転車通学をしている
- ・ 設置場所については、町全体で慎重に議論を尽くしていくべき
- ・ 人口の中心軸の推移を見るべき
そうしないと100年の計を見誤る気がする
- ・ 人の数だけ意見があるが、前の経過から増穂商業高校に引っ張られている気がする
- ・ 自転車通学は危険が多いと思うので反対である
- ・ 町の中心、空き地利用、既存施設の活用などを考えると増穂商業高校がいいと思う
- ・ 自転車通学については、全生徒・全区域で認めるべき
高校で自転車通学になるのであれば、中学の時点から、安全について考慮しながら、交通についての教育を進めていくべき
- ・ 増穂商業高校ほどの広い敷地はいらない
- ・ 統合に直接関係してくる小学校低学年や保育園の保護者をアンケートの対象にすべき
- ・ 新築ということであれば、今通学をしている生徒のことも考えると、教育活動に支障がない増穂商業高校がいいと思う
- ・ 自転車通学を可能にしてもらいたい
自転車通学は危険という意見があるが、自転車のルールなど子どもたちに町全体で教えていくことが必要
また、バスの運行区間も拡大してもらいたい
- ・ この町の将来を考えて、住民が増えていくイメージを持って新校舎の建設

をしてほしい

- ・ 設置場所については、中学校のことだけでなく、小学校のこと、町民体育館のことなど、世代を超えて交流できるような場としても使えるようにしてもらいたい
- ・ 新校舎建設も素晴らしいが、将来の負担を考えると、増穂中学校を改修することがいいと思う
- ・ 町の中心に近く、鰍沢地区の負担も少ないため、増穂商業高校がいいと思っていたが、総合的に考えると一長一短である
- ・ 最終的には町の決定に従う
- ・ 未来の子どもたちのため、人口減少対策、町おこしの一環としても新校舎を建設してもらいたい
- ・ 設置場所がどこになるにしても、子どもたちが笑顔で通えるように考えてほしい

- ・ アンケートの保護者別で見た場合、増穂中学校という意見がわずかだが多いので、このことを見てもらいたい
- ・ もっと、子どもの意見や親の意見を吸い上げるように、検討してほしい
- ・ 色々な思惑が感じられ、増穂商業高校ありきではないかと感じている
- ・ 増穂商業高校になると、通学距離が長くなる子が多くなるので、子どもたちの利便性を考えてほしい
- ・ 生徒の分布を地図に落とし込み数値化するなど、精査して、配慮してもらいたい
- ・ 鰍沢地区の住民の参加が少なく、寂しい気持ちである
- ・ 数で比べるとどうしても増穂地区の意見が多くなり、鰍沢地区の意見が少なくなってしまう
- ・ 通学のこと気がなるので、徒歩・自転車・スクールバスなど、子どもをの事を考えて、安全安心な通学を検討してもらいたい
- ・ 増穂商業高校がいいと思うが、増穂中学校でも仕方ないとも思う
- ・ 情報が出てこないなので、情報公開の場があったほうがいい

- ・新中学校の検討事項について、検討委員会で決めていくのもいいが、対話の場を設けて、生の声を聞いてほしい
- ・アンケートを見たが、地域によって意見に差がある
中学校の場所は、自分の家から近いということだけではなく、全町的に判断していくことが町政のあり方だろうと思う
- ・対話集会だけで解決できるのか
- ・問題点等を洗い出して、どうやってハードに活かしていくかが重要
学校のコンセプトにあったハードを建設してほしい
- ・物事を決めていくのに、トップダウンで決めていくのはやめてほしい
- ・自立心をどうやって芽生えさせるかということについて、これまで以上に取り組んでもらいたい
- ・学校林や町有林の木を使って、身延町に負けないような、木造校舎を建設してほしい
- ・地域の木材加工業者などに発注して地域経済を活性化させてほしい
- ・高校への進学や子どものメンタル面が心配なので、不安を取り除けるようにしてほしい
- ・新校舎が完成してからの統合がいいと思う
新しい校舎があるから、子どもたちは頑張れるのではないか
- ・新校舎の規模については、現状を考慮して建設してほしい
- ・設置場所の決定理由が、数値によるものであればわかりやすいが、それを覆しての決定であれば、理由を丁寧に説明してほしい
- ・中学校や町民体育館などの事業の順序を、速やかにわかりやすくオープンにほしい